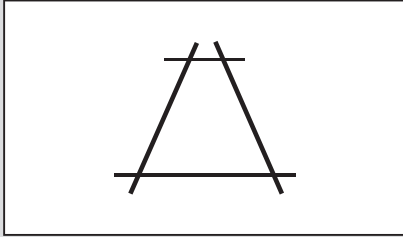


ノンスリップシート 施工手順

■施工方法

1 位置決め

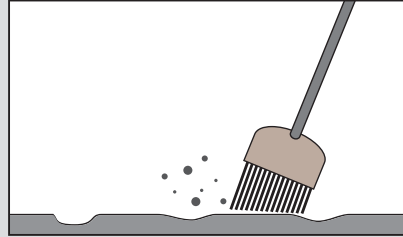
設置位置を決め、作図します。



2 清掃

ほうき等で設置面の清掃をします。

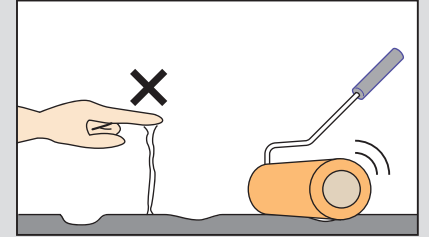
水分やゴミ・汚れ等を十分に取り除きます。
凹部分は念入りに清掃を行ってください。
設置面が濡れている場合は施工できません。



3 プライマー 塗布・乾燥

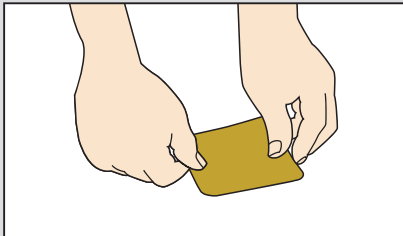
専用プライマーを設置面凹部まで均一に薄く塗布し、指で触れても“**付着しなくなるまで**”十分に乾燥させます。

塗りすぎ・乾燥が足りないと剥がれの原因となります。



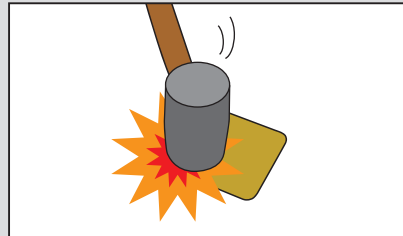
4 貼付

シートの裏紙(剥離紙)を少し剥がし貼付けます。
裏紙(剥離紙)を徐々に剥がしながら設置面に貼付けていきます。



5 圧着

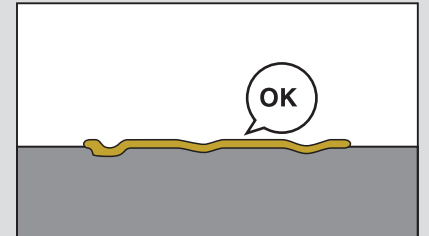
シート中央から外側に向けてゴムハンマーなどで空気を抜くように圧着します。とくにエッジ部分は十分に転圧して下さい。



6 施工完了

シート圧着後、設置面の凹凸部までシートが接着していることを確認し、施工完了です。

設置面とシートの間隙があると、浸水し剥がれる恐れがあります。



■施工の注意点

- 設置面に水分が残っていたり、ゴミやホコリ、油分などの汚れが付着している場合は剥がれの原因になります。十分に乾燥、清掃を行ってください。
- 施工時の外気温が低いとき(気温10℃以下)は、ガスバーナーなどで設置面の温度を40℃程度になるまで加熱してください。
- バーナー使用時は火気に十分ご注意ください。
- 専用プライマーに記載されている注意書きを必ずお読みください。
- 設置面の適合性・接着性を十分にご確認ください。
- 設置面に凍結防止剤が残留している場合、必ず除去してください。

■施工場所の注意点

※下記の場所については施工を避けてください。

- 水没する場所。(雨が降ると水たまりになる場所など)
- 設置面に防水・撥水塗装がされている場所。
- 設置面に亀裂が入っている場所。
- コンクリート新設舗装から3ヶ月以内の設置面。表面のレイトランスにより接着性を損ねる原因になります。
- 設置面の凸凹が激しい場所。(アスファルト・コンクリート路面が劣化している場所など)
- 車の通過する場所。

- 施工後は設置面の原状復帰はできかねますのでご注意ください。
- 公道への施工は道路管理者の許可が必要です。
- その他、設置面に関して、ご質問がございましたら、当社までお問い合わせください。

※裏面に「プライマー塗布の注意点」等が記載されておりますので 必ずお読みください。

■プライマー塗布の注意点

設置面	経年・路面状態	下地処理方法	注意事項
アスファルト	施工直後	清掃後 プライマー塗布しない	
	施工後 1 日～ 1 週間	清掃後 プライマー塗布	塗布量はごく少量とする
	施工後 1 週間以降	清掃後 プライマー塗布	
コンクリート	施工後 3 か月未満	原則として施工しない	新設コンクリートは施工不可
	施工後 3 か月以降～ 6 か月以内	表面のレイトランス除去後、清掃・プライマー塗布	プライマーの吸い込み状況により何度か塗布
	施工後 6 か月以降	表面のレイトランス除去後、清掃・プライマー塗布	
インターロッキング	コンクリート系	清掃後 プライマー塗布	
	陶板系	清掃後 プライマー塗布	
石 材	鏡面仕上げの場合	清掃後 プライマー塗布しない	
	鏡面仕上げ以外の場合	清掃後 プライマー塗布	塗布量はごく少量とする

■保管方法

- 直射日光、水漏れ、高温、低温、多湿を避け、火気のない屋内で保管してください。
- 立掛厳禁で、平らな場所に平置きで保管ください。
- 製品を変形させて保管しないでください。

■廃棄方法

- 本製品を廃棄する際は、各自治体の条例に従い、適切に処理してください。

■免責事項

- 第三者の故意、過失による不具合、天災、地盤や周辺環境に起因する製品の損傷、不具合。
- 経年劣化による汚れ、摩耗による製品の劣化や剥離。
- 万一、材料に起因する不都合が生じた場合は、材料のみ代替え提供いたします。二次的損害については、保証いたしかねますのでご了承ください。
- 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不都合による損害・損失。